

## 愛知県とEPOCが20日に循環ビジネス創出会議を開催

(名古屋) 愛知県とEPOC (環境パートナーシップ CLUB)は20日、名古屋市中村区のウインク愛知で循環ビジネス創出会議 (ビジネスセミナー) を開催した。

今回は、「資源循環を支えるリサイクル技術」をテーマとし、名古屋大学大学院工学研究科化学システム工学専攻平澤政廣教授による「リサイクル技術における固体分離」と題した基調講演に続き、アルメック星河重仁常務取締役の「業界初の水を使った金属残渣の選別」、毎日商会西田勝志代表取締役の「混合廃棄物の管理型処分量大幅削減と資源化を実現する業界初のシステム」、リサイクルテック・ジャパン高取美樹代表取締役の「圧縮破碎とプラスト処理による廃棄太陽光パネ



講演模様

ルの分離技術」として3つの事例紹介も行われた。

この中で星河常務は「シュレッダーで母材を破碎後メッシュ18ミリアンダーの物は従来全量廃棄(製

錬所向け) していたが、この残渣から金属資源を取り出すために構築したのが非鉄ピックアップライン。当社が導入した水を利用する選別ラインは低コスト、省スペース、重液のような特殊な物を使う必要もなく選別精度が安定している。昨年実績で廃棄量を75%圧縮しており天然資源の節約、大幅な省エネに貢献できた」と成果を語った。